

欠陥・手抜きソフトウェア防止/システム開発監理コンサルティング

情報システムは不透明とあきらめていませんか？ 悪質業者、劣悪ITから貴社を守ります！

欠陥・手抜きソフトウェアは住宅以上に発見することが困難です

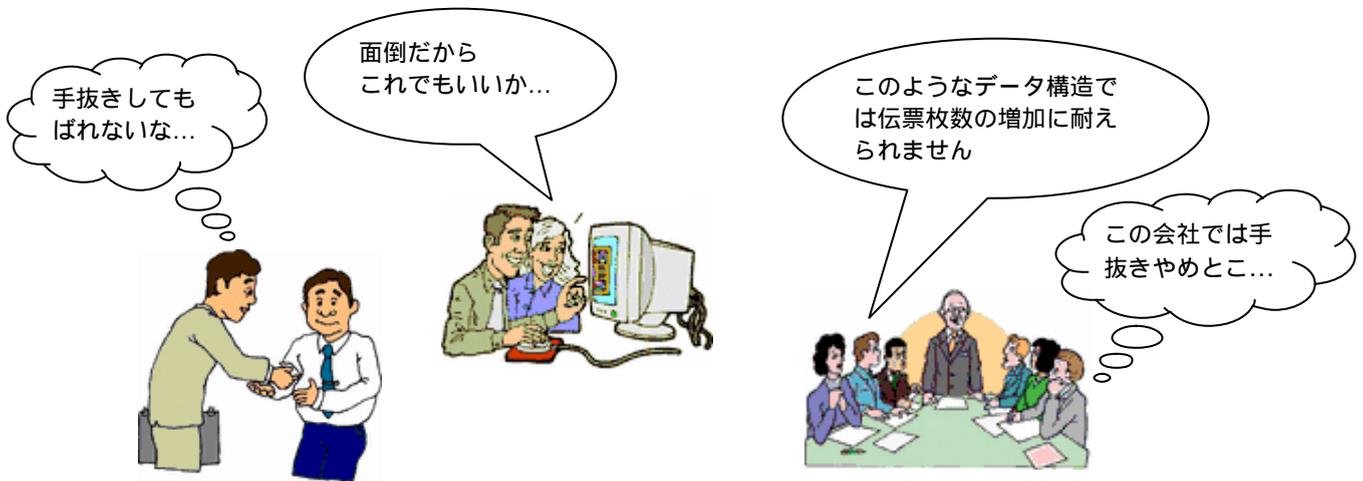
施工不良などが原因で起きる欠陥住宅が問題になっています。せっかく大金をはたいて買ったマイホームが設計ミスや手抜き工事でだいなしにされる被害者は後を絶ちません。これと同じように、大金をはたいて買った情報システムが能力の未熟さや手抜き作業で欠陥ソフトウェアとなって泣かされている企業もまた少なくないはずです。しかも**内部構造は見えにくいソフトウェアでは欠陥や手抜きを住宅以上に発見することが難しい**のです。

安心で価値ある自社システムを手に入れるために

欠陥住宅はなぜ起きるのでしょうか？ 売る側が専門家で買う側が素人であるために、売る側が誠意がない、あるいは悪意がある場合はだますのが容易だからです。**ソフトウェアもまた欠陥住宅と同じで目にみえる表側がたとえ見栄映えがよくても土台や骨組みはがたがただったりします**。腕のいい職人が着物の裏生地こだわるように、本当の品質は見えないところこそ隠れているのです。ソフトウェア開発にも建築工事と同じようにきちんとした設計方法や工法があります。残念ながら一級建築士にあたる情報処理技術者試験は任意の資格であり、無資格でもソフトウェア開発ができてしまいます。劣悪な情報システムでは納入当初からバグ(ソフトウェア不良)に泣かされ、データ量が増えてくると処理が遅くなったり止まってしまうケースも珍しくありません。しかし、適切に開発されたソフトウェアはいい家が長く住めるように、安定して動くものなのです。建築業界では当たり前になってきたISO9000もまたソフトウェア産業ではまだまだ取得企業は少なくのが実情です。**価格が安いから、近いから、以前からのつきあいだからといった安易な理由で業者を決めることはやめましょう**。

システム開発にも工事監理をつけましょう

工事監理というしくみをご存じでしょうか。欠陥住宅から身を守るために、建築主の代理人として建築のプロである工事監理者と契約して住宅工事が適切に行われているかを監視してもらう方法が注目されています。ソフトウェア開発でも同じように**ソフトウェア開発の専門家が企業側について業者を監視することによって欠陥や手抜き工事をさせないようにすることが可能になる**のです。業者選定の時点から専門家が業者からの提案書や見積書を吟味することができれば、契約の前段階で悪質業者を見抜くこともできます。



システム開発監理がつけば業者のスタンスは変わります

弊社システムアナリスト、システム監査技術者など多数の情報処理技術者資格を有するシステムコンサルタントが貴社を欠陥ソフトウェアからお守りします。**システムコンサルタントが打ち合わせ会議に同席するだけで業者の対応が激変することはありません**。システム化企画の段階から運用保守まで一環したサポートから提案書、見積書評価などスポット的なご支援まで柔軟に対応させていただきます。まずは弊社までご相談下さい。

杉浦システムコンサルティング, Inc

〒600-8815京都市下京区中堂寺粟田町93京都市サーチパーク6号館401号

TEL 075 (321) 5528 FAX 075 (315) 8497

Email sugiura@mbox.kyoto-inet.or.jp HomePage <http://www.st.rim.or.jp/~ryoma>